



冬のパリ

近藤正寛写真展

入場無料

2024 2. 23 (祝・金) ~ 3. 20 (祝・水)

9 : 30 ~ 17 : 00 (入館受付 16 : 30 まで)

休館日 毎週月曜日

近藤浩一路記念 南部町立美術館

主催：南部町教育委員会

後援：山梨日日新聞・山梨放送・テレビ山梨

富士ニュース社・岳南朝日新聞社・トミザワCATV

(順不同)

かお
貌
〜川・水・森・岩・海〜



冬のパリ



2010年と2020年の冬、私はパリを訪れ、どんよりとした空の下、ひたすら歩いた。冷たい空気感の中にあるパリの街と人を撮りたくて……。

寒さはあったが、今を生きる人々と歴史の織りなす「文化のきらめき」が、笑顔となって心を温めてくれた。

モノクロームの衣をまとった冬のパリ、あなたにはどう映るのだろう。



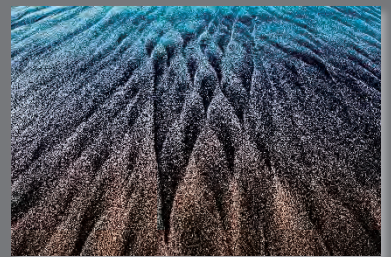
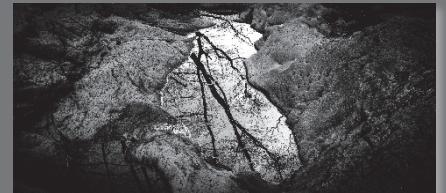
かお 貌

～川.水.森.岩.海～

富士川の河原の表情＝「川の貌」＝から始まった「貌シリーズ」。

湖沼や池の水面を追った「水の貌」を経て、その後は「森」、「岩」、「海」へと広がっている。

各地を歩き、レンズを通して出会った、さまざまな「小自然」。その表情に何を感じてもらえるのだろう。



略歴

- 1950年12月 山梨県南部町生まれ
- 1975年10月 富士ニュース社入社
- 1975年3月 茨城大学人文学部卒
- 2005年4月 フリーカメラマン

個展

- 1973年10月 「光と影の日々～日常にふれた5年～」(水戸市・ツルヤギャラリー)
- 1977年7月 「アルバム～私的風景を中心に～」(富士市・吉原市民会館)
- 2010年10月 「出会い～ひと、モノ、自然～」(富士市・ロゼシアター)
- 2011年11月 「出会い～ひと、モノ、自然～」(南部町・町立美術館)
- 2017年11月 「川の貌&旅の記憶」(南部町・町立美術館)
- 2018年9月 「フリーク in' 75」(富士宮市・RYU GALLERY)
- 2020年11月 「川の貌・水の貌」(富士宮市・GALLERY ARATA)
- 2021年11月 「竹林の詩」「水の貌2021」(南部町・町立美術館)
- 2022年6月 「冬のパリ～プロローグ～」(アートスペース〈エディション・シミズ〉)

近藤正寛写真展「冬のパリ」「貌～川.水.森.岩.海～」2・23日(祝金)～3・20日(祝水)

入場無料

ギャラリートーク 2月23日(祝・金) 13時30分～ 定員20人 参加費無料
参加ご希望の方はアルカディア文化館(☎0556-62-9292)にお申し込み下さい

近藤浩一路記念南部町立美術館(アルカディア文化館2階) 近藤浩一路常設展(水墨画)は一般300円 中学生以下200円

〒409-2213

山梨県南巨摩郡南部町大和360

TEL0556-62-9292 Fax0556-62-9293

<https://www.town.nanbu.yamanashi.jp>

(ナビ検索はアルカディア文化館で)

アクセス

- 車 新東名新清水IC-52号線 25分
- 中部横断道富沢IC-52号線 10分
- 南部IC-52号線 8分
- JR 身延線内船駅からタクシー 5分
- 徒歩 20分

